

ホクレン営農支援情報

(2020年5月号)

● 土壌物理性や透排水性改善が期待される「カットブレーカー」の施工・実演

《岩見沢支所 営農支援室》

岩見沢支所では、4月14日にJAいわみざわ管内の玉ねぎ生産者圃場で、今年1月に発売開始された「カットブレーカー」(株式会社北海コーキ)の施工・実演を行いました。

「カットブレーカー」は、土壌を膨柔にし透排水性を改善することで、湿害や干ばつなどの被害軽減や根張りの改善を図るものです。同JA、空知農業改良普及センターおよびホクレン(営農支援室、営農支援推進課)が連携した取り組みで、今後は調査を行うとともに、将来的には機械の共同利用導入モデルの構築を目指しています。また、秋には別の圃場でも実施する予定です。



実演会の様子



施工後の土壌断面

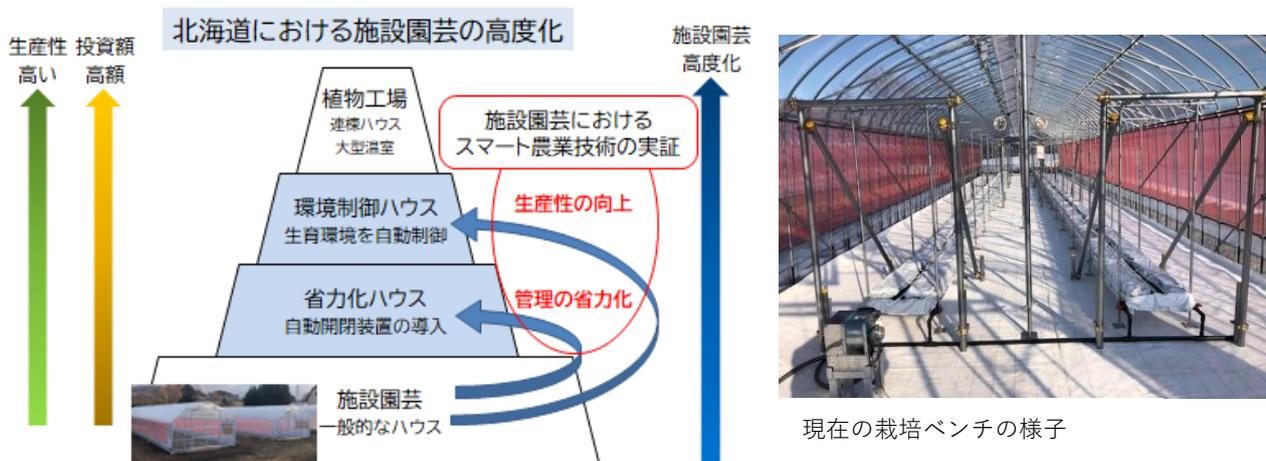
(黄色線の内側が施工された場所～小さな土塊が多い)

● 施設園芸におけるスマート農業技術の実証を開始 《営農技術課》

営農技術課では、今年度から複合環境制御技術を活用した栽培による、施設園芸での生産性向上および省力効果の実証を始めます。

複合環境制御とは、温度、湿度、CO₂濃度といった栽培環境を測定し、環境制御機器(自

動巻き上げ機など)で制御する技術です。ミニトマトを、環境制御機器を設置したパイプハウスで5月から10月にかけて栽培し、慣行の栽培と生育、収量、作業量などの比較を行い導入効果について整理し、産地の課題解決に役立つよう情報提供を行っていきます。なお、この内容はアグリポート25号(6月発行)でも紹介する予定です。



●クロスブリーディング（異種交配）取り組み状況 《訓子府実証農場 畜産技術課》

訓子府実証農場では、乳牛の長命連産性などの改善を目的に、2018年からクロスブリーディング（異種交配）による効果について実証を行っています。現在、ホルスタイン種とモンベリアード種の交配種（雌）を26

頭飼育しており、さらに、この交配種にカナディアンエアシャー種を交配した牛が間もなく分娩を迎えます。

今後、これら交配種の乳量や繁殖成績などを調査し、生産性を評価していく予定です。



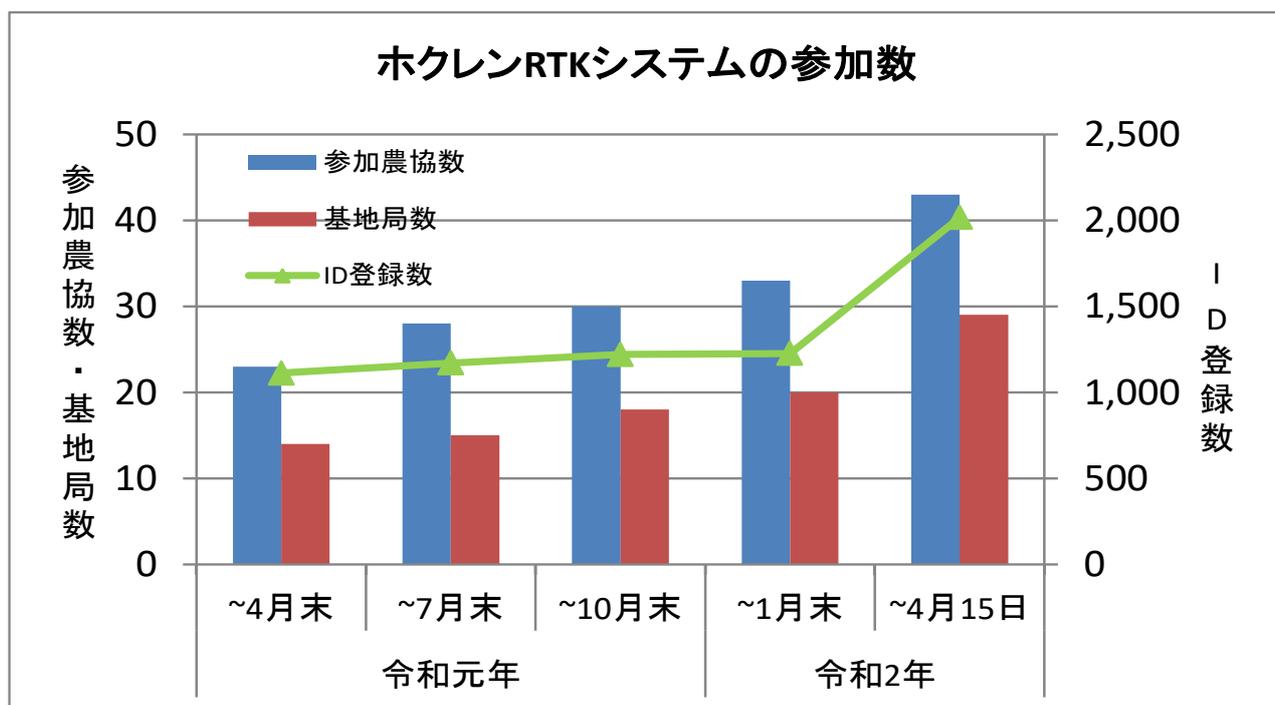
ホルスタイン種とモンベリアード種の交配種
(2018年5月出生)

●ホクレン RTK システムの ID 登録数が 2,000 を超える 《スマート農業推進課》

ホクレンでは、平成 31 年度（令和元年度）4 月より「ホクレン RTK システム」として、高精度な農作業を行うために必要となる、位置補正情報の配信サービスを開始しています。

本稼働から 1 年が経ち、令和 2 年 4 月 15 日時点で北海道内 43 農協が参加し、ID 登録数は 2,016 となっています。

今後は、利用効果を整理し、さまざまな場面で情報発信することで、システムのさらなる利用拡大を目指しています。



●春播き小麦の新品種開発を目指し、播種作業が始まる 《畑作物開発課》

ホクレン長沼研究農場では、春播き小麦の品種開発を行っています。新品種の開発は候補となる多くの系統の収量性、耐病性などを圃場で試験することが必須です。播種作業は手作業が多いので、毎年、職員総出で行っています。今年は天候にも恵まれ、4月15日から始まった播種作業を順調に進めることができました。

今後は生育調査等を実施し、8月上旬頃に収穫作業を行う予定です。



春播き小麦の播種作業の様子

内容についてのお問い合わせは ホクレン岩見沢支所営農支援室 まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp